

一般社団法人日本粘土学会 2020 年度第 3 回理事会議事録

日 時：令和 2 年 7 月 25 日（土）15:00～17:00

会 場：国際文献社パブリッシングセンター会議室および WEB 会議

出席者：理 事(25 名)：山崎淳司 (WEB)、河野元治 (WEB)、中川昌治 (WEB)、佐藤 努 (WEB)、  
蛭名武雄 (WEB)、日比野俊行 (WEB)、大川政志 (WEB)、大河原正文 (WEB)、太田  
俊一 (WEB)、岡田友彦 (WEB)、小口千明 (WEB)、亀島欣一 (WEB)、川俣 純 (WEB)、  
桑原義博 (WEB)、笹井 亮 (WEB)、寒河江竹弘 (WEB)、鈴木憲子 (WEB)、鈴木正  
哉 (WEB)、高木慎介 (WEB)、高橋範行 (WEB)、手束聡子 (WEB)、中戸晃之 (WEB)、  
森下智貴 (WEB)、横山信吾 (WEB)、渡邊雄二郎 (WEB)

監 事(2 名)：月村勝宏 (WEB)、志々目正高 (WEB)

理事以外の常務委員(2 名)：伊藤健一 (WEB)、田村堅志 (WEB)

事務局：川島朝子

欠席者：理事(3 名)：伊藤弘志、牧野知之、万福裕造

成立確認：理事総数 28 名の過半数 14 名、出席理事 25 名で理事会の開催は成立

審議事項

1. 2020 年度事業中間報告（資料 1）

(1) 学術雑誌の編集と発行

日比野編集委員長（粘土科学）、蛭名編集委員長（Clay Science）からそれぞれ資料を  
もとに報告があった。

(2) 研究発表会・見学会等の開催

第 63 回粘土科学討論会（埼玉大学）の開催について、小口実行委員長より資料をもと  
に開催報告があった。盛会であった旨と常務委員の方々の協力に対してのお礼があった。

第 64 回粘土科学討論会（信州大学）の準備状況について、樽田実行委員長の代理とし  
て岡田友彦先生より報告があった。今年度の開催はコロナ禍の影響で 1 年延期が決まった  
ので 2021 年 9 月 13～17 日の間の 2 日間で開催できるように会場を確保したとの報告があ  
った。

(3) シンポジウム・セミナーの開催

資料をもとに、田村企画委員長より第 63 回粘土科学討論会でのシンポジウムの報告と  
第 64 回粘土科学討論会でのシンポジウム準備状況が報告された。また、セミナーについ  
ては委員会内で議論が進められたが、今般の事情で現在は開催の見込みがたたないとの報  
告があった。

(4) 参考粘土資料

鈴木正哉参考粘土委員長より、資料をもとに報告があった。

(5) 広報

横山広報委員長より、資料をもとに報告があった。

(6) 渉外

川俣渉外委員より、資料をもとに報告があった。第 4 回 Asian Clay Conference はオン

ライン開催となったが盛会であった旨が報告された。また、今回は米国粘土学会と共同開催が予定されており、日本の窓口には佐藤常務委員長が就任することとなった。

(7) 表彰

山崎会長より、資料をもとに報告があった。

(8) 研究促進

山崎会長より、資料をもとに報告があった。現在活動している研究グループは1件であり、活発な研究活動のために新しいグループを歓迎するとのコメントがあった。

(9) 庶務

小口庶務委員より、資料をもとに他学会等との連絡・協力について報告があった。また手束庶務委員より、関連学協会との共催・協賛、および会員動向についての報告があった。

(10) 常務委員会及び理事会

佐藤常務委員長より、資料をもとに報告があった。

2. 2020年度会計中間報告（資料2）

伊藤会計委員から、資料をもとに報告があった。6月30日までの決算であるため、今後支払いが生じるものもあるが、単年度では90万円程度の黒字となり、これは討論会での収益が大きく寄与していることが報告され、小口実行委員長に対し謝意が述べられた。16名（正会員12名、シニア会員2名、学生会員2名）の会費未納者について、事務局川島さんから説明があり、引き続き支払いのお願いをするとのことであった。2年以上の未納者が退会を希望しているが、会費未納のままでは退会ができないので扱いについて議論があった。伊藤会計委員より、会員資格停止者を会員数に入れると予算が立てにくいので、「有資格会員数」という表現が提案された。参考として提示された「学会誌在庫状況」に関して山崎会長より、経費削減のため保管している雑誌の電子化や処分を検討してはどうかとの意見があり、佐藤常務委員長より、今後の検討課題としたいとの見解が示された。

3. 2021年度業務委託契約（資料3）

佐藤常務委員長の指名で、事務局川島さんから来年度の業務委託契約の変更点の説明があった。契約書および覚書に変更は無く、算定基準書を改定した。改定は下記3点である。

- (1) クレジット引落代行手数料
- (2) 登記用住所提供
- (3) Zoom利用料（会議設定費用）

4. 2021年度事業計画（資料4）

各担当委員より2021年度の実業計画が資料に基づき説明された。佐藤常務委員長より資料の訂正があり、「10. 常務委員会・理事会」の1月22日（土）を、1月23日（土）とした。

5. 2021年度予算（資料5）

伊藤会計委員より、資料を基に説明があった。収入、支出ともに今年度の決算を踏まえて予算編成をしているが、今年度は討論会が開催できなかったため収入の大幅減が見込まれるとの見解が示された。

6. 2020年度日本粘土学会学会賞等選考結果（資料6）

高木学会賞等選考委員会委員長より、資料に基づき2020年度日本粘土学会学会賞等選考

結果が報告された。

7. 2020 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果（資料 7）

山崎会長より、資料に基づき 2020 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果が報告された。

8. 2021・2020 年度日本粘土学会役員選挙結果（資料 8）

山崎会長より資料を基に選挙結果が報告された。

9. 2020 年度総会の開催日時と形式について（資料 9）

佐藤常務委員長より資料に基づき説明があった。本年度は 9 月 15 日（火）に開催し、会長と川島さんが国際文献社会議室、その他はオンライン参加でのお知らせをすることが報告された。Zoom Meeting 利用を考えていたが、先の常務委員会で国際文献社が現在契約しているのは 100 人であることが報告された。参加予定人数を鑑みると足りなくなる可能性があるため、このまま案内を出すのは適切ではない。300 人まで参加可能なプランを学会でひと月だけ申し込む方法が提案された。Zoom の支払いにはクレジットカードが必要だが学会として所有していないので、個人の立替払いは可能かという質問が山崎会長より伊藤会計委員にあり、監事が認めれば問題ないのではないかと回答がされた。また、国際文献社の契約をアップグレードしないかとの質問があり、川島さんから会社側に要望があったことを伝えるとの回答があった。開催の詳細については週明けにある川島さんからの返事を待つて決めることとした。また案内の中の「書面による決議権の行使」について。約款にないので、「委任状を提出することができる」に変更したことが説明された。

10. 投稿論文における不正行為防止について（資料 10、11）

日比野粘土科学編集委員長より、資料 10 を基に説明があった。2020 年 3 月に二重投稿とみられる投稿があったことから、再発防止策として 4 案が示された。議論の結果「論文投稿における不正行為の禁止」を執筆要項に加えることとなった。

11. WEB 役員選挙の導入について

佐藤常務委員長より、経費節約および作業効率向上のために WEB 役員選挙を導入したいとの提案があった。手束庶務委員より、本会の web の My Page から可能であることが説明された。初期費用を精査して、次回の選挙からの導入を目指すことになった。

12. AIPEA の web ページ内への各国学協会紹介ページの開設について

川俣渉外委員より説明があり、本会 web の英語ページをリンクすることから始めることが提案された。

13. 粘土科学討論会

(1) 第 64 回粘土科学討論会

樽田実行委員長の代理として岡田理事より説明があった。2021 年 9 月 13 日から 17 日の間で 2 日間開催し、見学会は実施しない。また、総会やシンポジウムなど大人数が参加すると見込まれるものについては、現在サテライト開催なども含めて検討中であり、感染状況によるが秋頃を目処に決定したいとのことであった。

(2) 第 64 回粘土科学討論会シンポジウム

田村企画委員長より、討論会実行委員会と摺り合わせをして企画をしていくことが報告された。

14. その他

川俣渉外委員より、AIPEA が法人化を進めており、加盟団体の代表者を推薦して欲しいとのリクエストがあったことが報告された。小暮新会長を推薦したいとの提案があり、反対意見は無かった。

以上、審議の上承認された。

報告事項

1. 粘土科学執筆要項修正について（資料 11）  
日比野編集委員長より資料を基に説明があった。
2. その他  
特になし。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、会長及び監事がこれに記名押印する。

令和 2 年 7 月 25 日

一般社団法人日本粘土学会 理事会

代表理事（会 長） 山 崎 淳 司 ⑩

代表理事（副会長） 河 野 元 治 ⑩

監 事 月 村 勝 宏 ⑩

監 事 志 々 目 正 高 ⑩